



～ありがとう これからも地域とともに～

兵庫丹波の森協会ニュース2016

丹波の森構想を推進するため、篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公苑・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々との「参画と協働」により2016年に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせし、丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返る資料として発行しました。事業に関するご意見等をお寄せください。

⑨は新規事業、⑩は継続事業です。

トピックス

⑨ 丹波の森公苑開園20周年記念式典を開催

平成8年4月に丹波地域の生活創造の拠点として「丹波の森公苑」が開設されてから20周年を迎えました。これまでの取り組みに感謝の意を表するとともに、事業や施設運営へのさらなる県民参画を促進するため、関係者の出席を得て、開園20周年記念式典を開催しました。

- ・開催日 4月29日（金・祝）
- ・場 所 丹波の森公苑
- ・出席者 約500人



開園20周年記念式典

⑩ 丹波の森公苑の入園者500万人達成！

丹波の森公苑は豊かな緑の中で、県民の文化・スポーツ・レクリエーション活動を推進するとともに、生涯学習や地域づくり活動等を支援してきました。

平成8年4月の開園以降の累計入園者数は、平成28年6月4日に入園者500万人に達し、記念セレモニーを実施しました。



入園者500万人達成

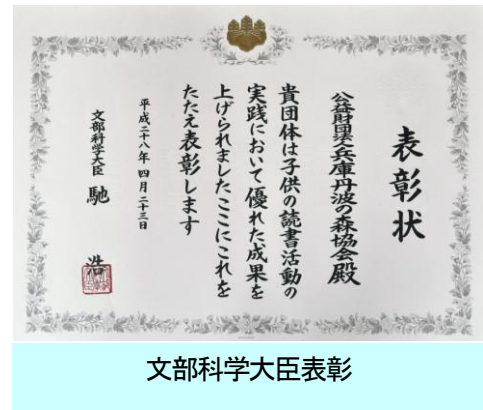
累計入園者数の推移

平成10年	8月 5日	50万人達成
平成12年	9月29日	100万人達成
平成14年	10月20日	150万人達成
平成16年	10月 2日	200万人達成
平成20年	7月23日	300万人達成
平成24年	6月	400万人達成
平成28年	6月 4日	500万人達成

新 (公財) 兵庫丹波の森協会が子供の読書活動の実践で文部科学大臣表彰を受賞

(公財) 兵庫丹波の森協会が、2016年度子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。

当協会が発行した丹波地域に伝わる民話や伝説を集めた「丹波のむかしばなし」(全119話)と、篠山市・丹波市の語りベサークルが小学校や認定こども園などでむかしばなしを語り、子どもたちが民話に親しむ機会を作ってきたことなどが評価されました。



継 「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」による被災地支援

宮城県石巻市立釜小学校に楽器を贈呈

平成27年度に東日本大震災の被災地を応援するため、シューベルティアードたんばの各コンサート会場で募金活動を行い、多くの方からご支援いただきました。集まった義援金で、コンサート・トムを購入し、宮城県石巻市立釜小学校に贈呈しました。

今年の6月17日には、シューベルティアードたんばから派遣したピアノ奏者の高橋麻子さんとティンパニー奏者の竹内将也さんが石巻市立釜小学校を訪れ、楽器の贈呈式及びミニコンサートを行いました。代表の児童から「トムやピアノの演奏で、また元気をもらいました。」「今日のお二人の演奏はとても素晴らしかったです。もらった楽器は大切に使います。」とのお礼の言葉がありました。



石巻市立釜小学校で楽器の贈呈



楽器贈呈式でのミニコンサート

新 劇団かかし座による影絵「長靴をはいたねこ」を開催

永年にわたり良質な公演を行っていることで定評のある現代影絵の専門劇団を招いての公演を開催しました。来場者の多くは親子同伴であり、劇団かかし座の巧みな演技により、躍動感あふれる影絵の世界を親子でじっくり楽しんでいただくことができました。

単なる影絵ではなく、劇団員が衣装を身に着けて登場人物の役柄を演じるなど、影絵とミュージカルが

融合したような迫力ある舞台が、多くの観客を魅了していました。

- ・開催日 8月6日(土) 2回公演
- ・場所 丹波の森公苑多目的ルーム
- ・入場者 280人



影絵「長靴をはいたねこ」

❶ 平成28年度兵庫県地域文化を考えるシンポジウムを丹波で開催

県内各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、各地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行い、今後における地域文化の活性化を図る「平成28年度兵庫県地域文化を考えるシンポジウム」が、ユニトピアささやまを会場にして開催されました。

オープニングアトラクションでは、鼓篠組(篠山市)による和太鼓演奏と春日郷土民踊保存会(丹波市)による黒井踊りが披露され、会場の雰囲気盛り上げました。

また、「文化活動とまちづくり」をテーマに、兵庫県立大学教授で人と自然の博物館次長の田原直樹教授による基調講演が行われました。

パネルディスカッションでは、「文化活動とまちづくり」をテーマに、丹波地域の3団体による取り組みの様子が発表されました。

参加いただいた方々には、情報交換を深め、交流の輪を広げるなど、有意義な1日を過ごしていただくことができました。

- ・開催日 10月11日(火)
- ・場所 ユニトピアささやま
- ・参加者 約300人



オープニングアトラクション



パネルディスカッション

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

■ 丹波の森大学で公開講座「地域創生フォーラム」を開催

本年度の丹波の森大学は、再び丹波から発信する「地域創生」を学習の基本テーマに講座を展開しました。公開講座では、地域創生をテーマに中瀬学長がコーディネーターとして、パネラーの皆さん（関西学院大学角野教授、丹波県民局・篠山市・丹波市の職員）による行政の取組などについて、パネルディスカッションを行いました。

- ・開催日 8月23日（火）
- ・場 所 丹波の森公園多目的ルーム
- ・出席者 78人



地域創生フォーラム

■ 丹波篠山ひなまつり事業のコーディネート業務

篠山で古来から続く「ひな飾り」を市内各所に飾り、伝統文化を未来に継承していく「丹波篠山ひなまつり」が、開催されました。

この催しは、まちづくり協議会など市内8地区10団体で構成する「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が主催し、当協会は、実行委員会の事務局及び企画のコーディネートを務めました。

- ・開催日 3月19日（土）～27日（日）
- ・場 所 篠山市内8会場
（福住、日置、市野々、篠山チルドレンミュージアム、雲部、篠山城下町、丸山、今田）
- ・来場者 約14,000人



市野々会場の雛飾り



丹波篠山ひなまつりのポスター

■ 丹波の森フェスティバルの開催

丹波地域の生活創造・地域づくり活動団体や市民が集い、ふれあいイベントを通して活動成果の発表と交流を深めました。

今年は、「ふれあいの祭典 丹波ふれあいフェスティバル」との一体的開催のため、内容に工夫を凝らし、丹波地域の特色や魅力をアピールし、緑豊かな自然の中で地域や世代を越えた交流とふれあいの場を展開しました。

- ・開催日 10月29日（土）～30日（日）
- ・場所 丹波の森公苑
- ・参加者 約41,000人（ふれあいの祭典全体の人数）



ふれあいステージの様子

■ 地産地消・丹波の食をまるごと楽しむプロジェクト（県立丹波並木道中央公園）

公園内や公園周辺には、赤米・丹波篠山茶などの食資源が多く存在します。その味覚を公園で味わい、または作る場所から楽しめる「地産地消」型の公園×食プログラムを展開しました。

公園内にある棚田において、赤米の栽培を行い田植えと稲刈りを地元の小学校（味間小学校・大山小学校）と神戸市にある認定保育園（明照認定こども園・みのり認定こども園・つきかけ認定こども園）の児童・園児、一般来園者が体験しました。田植え、収穫を手作業で体験し、お米を作ることの大変さや、赤米が出来た喜びを分かち合いました。

また地元の茶農家から分けていただいた茶の葉を使い、日本茶の良さを楽しめる茶かぶき体験（お茶の飲み比べ）や紅茶づくり体験プログラムを実施しました。

【赤米栽培・収穫体験】

- ・開催日 6月下旬～11月上旬
- ・場所 並木道中央公園 内棚田
- ・参加者 402人

【丹波篠山茶プロジェクト】

- ・開催日 6月5日（日）茶かぶき体験
8月7日（日）紅茶づくり
- ・場所 並木道中央公園 茅葺民家
- ・参加者 25人



赤米の田植え体験



茶かぶき体験

第5回秋の丹波なみきみちまつり2016の開催（県立丹波並木道中央公園）

公園の年に1度のお祭りである「第5回丹波なみきみちまつり2016」が開催されました。

公園の間伐材を利用した「丸太切り体験」や篠山市教育委員会と連携で行っている「化石発掘体験会」、地域の特産品を販売する「軽トラ市」や「丹波うまいもん市」など、「食」「森」「楽」「恐竜」などのテーマに合わせたイベントが行われ多くのお客さんで、とても賑やかなお祭りとなりました。



秋の丹波なみきみちまつり2016
ミニライブコンサート

- ・開催日 10月2日（日）
- ・入場者 6,300人

地域との連携によるイベントの開催（県立丹波並木道中央公園）

地元有志グループ等と連携し、丹波並木道中央公園で「なみきみちマルシェ」「邦楽ふれあいコンサート」を開催しました。

「なみきみちマルシェ」では多くの手作り雑貨の販売や移動販売車等による飲食の販売があり、多くのお客さんでにぎわいました。

「邦楽ふれあいコンサート」ではかやぶき民家で尺八、箏（こと）による演奏会が開催され、懐かしい邦楽の調べに耳を傾けました。

- ・開催日 5月28日（土）ママチャレ
- 9月4日（日）秋のなみきみちマルシェ
- 11月13日（日）邦楽ふれあいコンサート
- 11月19日（日）人形劇フェスタ
- 11月5日（土）ミニ駅伝大会
- 11月23日（金）駅伝大会



秋のなみきみちマルシェ

第29回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）の開催（県立丹波年輪の里）

「一般の部」は木のおもちゃを念頭に遊び心や木のぬくもりを感じられる作品を、「ジュニアの部」では、子どもたちに広く木に親んでもらうことを目的に自由な木作品を公募し、全作品を年輪の里で展示・公開しました。

【一般の部】

- ・テーマ 多角形、自由作品
- ・展示期間 9月18日（日）～10月2日（日）
- ・場所 年輪の里木の館ホール
- ・来場者 2,231人



一般の部 グランプリ（文部科学大臣表彰）

【ジュニアの部】

- ・テーマ 自由作品
- ・展示期間 10月23日(日)～11月6日(日)
- ・場所 年輪の里木の館ホール
- ・来場者 741人



ジュニアの部グランプリ(文部科学大臣表彰)

【ゴールデンウィークフェスタの開催(県立丹波年輪の里)】

ゴールデンウィーク期間中、年輪の里を活動拠点とするサークル活動の発表や施設のPR、利用促進に向けた、アトリエ作品展、フリーマーケット、ツリーイング、親子工作教室、竹とんぼ教室の取組を展開しました。

また、ウッドワーカーズクラフト2016では、兵庫丹波・京都丹波地域の木工作家や陶芸など手づくり作家を応援するとともに、手づくりの里丹波を広く周知するため、作品展示と販売を実施しました。

- ・開催日 4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)
- ・場所 丹波年輪の里
- ・来場者 7,100人



アトリエ作品展



フリーマーケット



ツリーイング



親子工作教室



竹とんぼ教室



ウッドワーカーズクラフト2016

すわ てん

座つ展 2016—丹波でうまれた木の椅子—（県立丹波年輪の里）

自然豊かな丹波の地で活躍する木工家のPRや「木工の里丹波の周知と活性化を目指し、丹波の木工作家が創作する「椅子」を集め、来場者にそれぞれの個性や造形の良さ、座り心地などを直接体感することで、木の持つぬくもりと良さを伝え、木の椅子と木工家のアピールに努めました。

- ・開催日 4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
- ・場所 丹波年輪の里
- ・来場者 1, 245人



座つ展2016

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり(イメージ画コンテストの実施)

丹波の森公苑では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻すべく、オオムラサキの飼育、放蝶や小学校などでの飼育指導を行っています。

さらに多くの人にオオムラサキのことを知っていただくため、“あなたが考えるオオムラサキの舞う里山とは！”をテーマに小学生を対象に初めて実施した国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストには、73点の応募がありました。

それぞれの作品には、自然豊かな里山にオオムラサキが舞う姿が思い思いに描かれていました。

子ども達の思いが届き、国蝶オオムラサキが舞う里山が増えていく取り組みを続けていきます。



イメージ画コンテスト審査の様子

森の迷路が完成（県立ささやまの森公園）

こもれびの園地の「森の遊び場」に6つ目となる遊具「森の迷路」が活動スタッフの皆さんの協力のもと完成しました。公園内にあるヒノキの林間の中に10m×15mの迷路がつくれ、秋の里山まつりでは迷路の早や抜けタイムトライアルが行われました。子供から大人までのチャレンジの場となっています。



完成した迷路

園内のいき物や風景の写真コンテストを実施（県立ささやまの森公園）

公園に飛来、又は生息している「鳥」をテーマに「その時」をとらえた写真を一般公募し13点の応募があまりました。

「秋の里山まつり」で展示し、併せて表彰を行いました。

- ・開催日 11月13日（日）
- ・場所 ささやまの森公園



写真の展示

生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざし事業を取り組みました。

丹波OB大学・大学院生が地域で活躍！

丹波OB大学では、地域実践の日（7月27日）を設定し、管内7ヶ所の事業所等で、受講生が福祉ボランティア活動や清掃作業を行いました。

丹波OB大学大学院では、1年生が大学院や地域に寄せる思いを紹介するラジオ番組を制作しました。制作した番組は、後日「地域コミュニティFM805たんば」で放送されました。また2年生は、三つのグループに分かれて地域活動に取り組みました。「都市部住民を招いた農業体験交流」「桜堤の美化推進活動」「地域の子どもたちとの交流」と、それぞれのテーマで充実した地域活動を展開しました。



丹波OB大学地域活動



大学院生による「都市部住民を招いた農業体験交流」

⑧ 講座「丹波学」『丹波形づくったもの』を開催

今年度の講座は、「丹波を形づくったもの」をテーマとして開講しました。丹波にゆかりのある旧・柏原藩織田家19代当主である織田信孝氏をはじめ、多彩な講師を招き、戦国期から江戸期に至るまでの丹波地域の変遷をたどりながら、現在の丹波がどのように形づくられてきたのかを学びました

開催日 9月10日(土)、9月24日(土)、
10月1日(土)、11月27日(土)、
12月17日(土)の5回
場 所 丹波の森公苑多目的ルーム
受講者数 160人



講座風景

⑨ 丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演の実施

丹波の森子どもミュージカル体験塾では、7月21日(木)から10月22日(土)まで、全部で17回のレッスンを行い、丹波地域の小・中学生及び高校生41名の子どもたちが、劇団ウエスト(豊中市)の劇団員による指導を受けました。

きびきびとしたダンス、ホールに響き渡る歌声、感情の込もった迫力ある芝居、そのどれからでも、子どもたちの成長が感じられるような、感動いっぱいのステージを繰り広げることができました。

- ・開催日 10月23日(日) 2回公演
- ・場 所 丹波の森公苑ホール
- ・出 演 平成28年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生(41名)
劇団ウエストの劇団員
- ・演 目 Sing Together
- ・入場者 547人



子どもミュージカルの発表公演

■ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし」（全10集）を活用し、話し聞かせる活動を行っているサークルに、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成を行いました。

併せて、会員の技術向上と情報交換の場として会員同士の交流研修会を12月2日（金）に、篠山市立城東小学校で行いました。



語り部サークル活動の様子
（篠山市立城東小学校）

芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざし事業を展開しました。

■ 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2016を開催

22回目の開催となる今年は、「森の息吹き」をテーマに、22回目にして初めて和楽器奏者の井本蝶山さんがフランスを務め、秋の丹波を舞台に多彩なコンサートを開催しました。

・オープニング・サロンコンサート

「森の^{セレナーデ}小夜曲」と題し、尺八、箏、テノールが、シューベルトの歌曲と新しい邦楽を中心としたコンサートを開催しました。

- ・開催日 9月11日（日）
- ・場 所 お菓子の里丹波ミオール館
- ・参加者数 225人

・ガラ・コンサート

「たてよこななめ ^{がく}楽に寄す」と題し、オーディションで選抜されたフライブルク音楽大学（ドイツ）の学生で、フルート奏者のマルーシャ・グロシェリ氏を招聘し、尺八、篠笛等の和楽器奏者と共演することで、音楽を通じた国際交流を図るとともに、和と洋がコラボした新しい音楽の可能性を試みました。

- ・開催日 11月13日（日）
- ・場 所 丹波の森公苑ホール
- ・参加者数 397人

・街角コンサート

丹波各地の公共施設を会場として、地域の特色を生かしたコンサートを10カ所で開催しました。

・ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校10校に音楽家が出向き、間近でプロの演奏が鑑賞できる機会を提供し、子どもたちとワークショップを行いました。

・キン・コン・カン・コンサート

丹波地域の中学校・高等学校4校に音楽家が出向き、演奏会を行いました。

・被災地への支援活動

各コンサート会場では、東日本大震災の被災地の小学校に楽器を贈るため、募金を行いました。



オープニング・サロンコンサート



ふるさと音楽ひろば



ガラ・コンサート

利用者の状況 (2016年11月末現在)

【丹波の森公苑】 249,738人

【丹波年輪の里】 166,171人

【ささやまの森公園】 14,900人

【丹波並木道中央公園】 128,588人

公益財団法人兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600

TEL&Fax 0795-73-0933

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600

TEL 0795-72-2127 (代表) Fax 0795-72-5164

URL <http://www.tanba-mori.or.jp/> e-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL 0795-73-0725 Fax 0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> e-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷511-1

TEL 079-557-0045 Fax 079-557-0201

URL <http://www.sasayamanomori.jp/> e-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地

TEL 079-594-0990 Fax 079-594-0991

URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>

BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>